

平成 29 年度 2 月 第 11 回 菩提寺まちづくり協議会 合同役員会議事録

日時： 平成 30 年 2 月 14 日（水） 19：30～21：05

場所： 菩提寺まちづくりセンター 第 2 会議室

2018.02.16 記録者：日高博憲

- 1.出席者：浅井(長)福祉・安全委員長、田中文化芸術委員長、浅井(基)地域活性化委員長、東良子ども育成委員長、川上事務局長、松本近江台区長、廣嶋菩提寺区長、永田イワタニランド区長、樋口三上台区長、片伯部サイドタウン区長、坂田菩提寺代理区長、西久保北山台自治会副会長、長瀬三上台自治会長、圓山サイドタウン自治会長、中林監事、鶴飼監事、木ノ下会長(北山台区長)、中野副会長、中村会計、平地氏、日高書記
欠席者：江元みどりの村区自治会長、清水近江台自治会副会長、平澤イワタニランド自治会長、

2.会長報告

- 1)平成 30 年 1 月 29 日に湖南省地域まちづくり協議会会長会議を開催しました。

その会議の内容を報告いたします。

- ① 平成 30 年度滋賀県総合防災訓練(30 年度は湖南省が担当)は 9 月 2 日野洲川親水公園での開催に決定し、地域まちづくり協議会が参画しての訓練計画が起案されていましたが、湖南省職員での避難所開設運営のモデルケース訓練とすることに決まりました。
- ② 市より各地域まちづくり協議会に高齢者・障がい者・子ども達の見守り構築として見守りタグ感知器設置協力依頼がありました。菩提寺まちづくり協議会は認知症高齢者の行方不明者が発生していることから設置申込を行いました。

⇒感知器をセンター事務室に置く。

スマホにアプリを入力しておけば感知が出来る。

又見守りタグの設置推進に協力をお願いしたい。

- ③ 社会福祉協議会は平成 29 年度まで小地域福祉活動推進事業として交付金事業が行われていましたが、平成 30 年度から「(仮称)きずなづくり交付金」に変更され、交付対象事業メニューが見直されます。決まりましたら詳細を報告いたします。
- ④ 平成 30 年度から数年 (3 年) かけて「生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)」を各まちづくり協議会に設置していきたいとの構想があります。これにはいろいろ意見が出されまだまだ検討が必要となりました。
- ⑤ 平成 30 年度地域活性化先進モデル事業交付金メニューが提示されました。昨年とほぼ同様のメニューです。30 年度の事業計画に取り入れた案を起案していきたいと考えています。委員会事業に検討してください。
- ⑥ まち協会会長会視察研修が 3 月 2 日(金) 三重県名張市 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会他に決定しました。菩提寺まちづくり協議会は四役が参加いたします。

- 2) 平成 30 年度の協議会体制構築のため役員推薦委員会を開催していただいています。

また、まち協事務局が機能するよう変更をいたします。

3.議事:協議事項及び承認事項

- 1)福祉・安全委員会報告:浅井(長)福祉・安全委員長 (配布の委員会議事録を参照)

- ① 菩提寺「すくすく食堂」が滋賀の縁創造実践センターのモデル事業に認定された。
 - ・平成31年度までの事業継続が必要
 - ・平成29年度20万円、平成30年度10万円の助成金が出る。
ただし、平成31年度は、すべて自主財源で運営
 - ・活動報告の提出が必要

- ・各種の研修会(学習会)、交流会への参加要請あり。
- ・今年度の助成金20万円を「すくすく食堂」の運営資金に加える。
(食器、調理器具の購入と食材購入費に充当する)
- ・「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」スポンサー登録を行いたい。
登録を行うことで、スポンサー(企業・団体・個人)から食材や寄付金等の提供を受けることが出来る。

結論:申請を全員で承認

- ② 2月4日開催の「認知症講演会」の参加者
 - ・合計103名が参加(7区から80名)
 - ・参加者内訳

参加母体	菩提寺	三上台	北山台	みどりの村	サイドタウン	イワタニ	近江台	行政・団体
参加人数	18	10	22	10	12	6	2	23

- ・参加者の感想
 - 「実際に認知症を介護しているご家族の話なので現実味があり、また様々な工夫とご苦労をされていることが良くわかった。」
 - 「自分が講演者の立場になったら同様の介護ができるかと不安になる。」
 - 「地域や知人に“妻が認知症になっており、徘徊の可能性はある”と言えるか疑問
 - 「これまで高齢者の徘徊は他人事と思っていたが、身近に起こっている。」
 - 「ここ数年、認知症や高齢者の徘徊に対する注目や認知度が急速に高まってきた。」
 - 「広域の連携ということでは、菩提寺まち協の取組みは有効と思う。」

⇒次年度以降の開催については、今後検討を進める。

- ③ 第4回 菩提寺「すくすく食堂」の開催(1/20)結果
 - ・1月20日の参加者は53名(インフルエンザで欠席者あり)
 - ・クリームシチューとパンの昼食
 - ・“遊びと学ぶ”は「未就学児」「小学校低学年」「小学校高学年」に分かれて、かるたやトランプを楽しみました。
 - ④ 第5回 菩提寺「すくすく食堂」の準備
 - ・土曜日事業と連携し、土曜日事業参加者を「すくすく食堂」に呼び込む。
 - ・2月13日時点で74名の参加申込みあり。2月13日(月)19時30分からスタッフ会議開催
 - ・カレーを提供(土曜日事業スタッフにも)
 - ⑤ 第6回 菩提寺「すくすく食堂」の予定
 - ・開催日 3月17日(土)
 - ・ちらし寿司の提供
 - ・地域活性化委員会の協力を得て、「しいたけの原木づくり」「竹細工」を体験してもらう
 - ⑥ 第7回 菩提寺「すくすく食堂」の予定
 - ・開催日 4月21日(土)
 - ・地域活性化委員会への協力依頼 ⇒ 「バンブーハウス見学」+「筍掘りの体験」
浅井(基)地域活性化委員長より;
当日は東近江青年会議所からタケノコ堀の依頼があり了承した。調整が必要。
意見)菩提寺地区での活動を優先すべきではないか?
 - ⑦ 菩提寺「すくすく食堂」のPR
 - ・認知度を高め、スタッフ(遊びと学び)の募集と食材の提供を呼びかけるチラシを作成
⇒自治会で回覧いただきたい。
- 結論:事務局長より。他の委員会からもサポーター募集の要望があり各委員会は2月末まで(本日より2週間以内)に事務局長へPR内容を提示願いたい。**
- ⑧ 「家庭でできる防災対策(菩提寺版)」の発刊準備
 - ・東京都「東京防災」を参考にして、原稿を作成済み
 - ・東京都に引用の許可を求めている段階。OKが出れば印刷し、全戸配布の予定している。

2)文化芸術委員会報告 田中委員長(配布議事録を参照)

①歴史文化資料室関係

ア)次回の歴史講座は平成30年3月3日(土)の予定で計画している。

チラシを作成しているので各区で回覧をお願いしたい。

テーマ「滋賀県の古墳・菩提寺の古墳(副題:竜王山古墳群)」

講師:阿刀弘史氏(滋賀県文化財保護協会)

事務局長より)

チラシでの回覧を依頼されているが、過去何回にわたり同時にHPに掲載することを提起しているが実施されていない。必ずHPに掲載してください。

②新型交付金事業

ア)地域プロモーション; 30分程度にまとめたDVD化に向けて作業中。

イ)歴史文化保存事業:地域に住んでおられる年配者から話を聞かせてもらい5名終了。

後、3~4名の聞き取りを予定。

Q)何時終了するのか?

A)3月10日に終了予定である。

③土曜日事業

ア)第10回 2/17 竹細工 まちづくりセンターで実施

イ)次年度からはやり方を変えて、各委員会が1つ担当していく。文化芸術は歴史ワークショップを担当予定。

④その他

ア)次年度の活動計画を作成し、年間予算を算出していく。運営協議会と内容を検討していく。

イ)コミセン前、案内看板の更新計画。不具合箇所がありその訂正と劣化対応。

別紙予算執行依頼書を提示するので承認をお願いする。予算;80,000円、業者見積;79,920円

結論:申請を全員で承認

ウ)2月24日(土)9:00~10:30 歴史の小径整備作業 を再開する。支援をお願いしたい。

3)地域活性化委員会報告 浅井委員長(配布議事録を参照)

①1月22日(月)13時から滋賀県立大学と3月のワークショップの日程、作業内容について打ち合わせ実施。

ア)3/5~14 9日間まちづくりセンター和室に宿泊する。紐やガムテープなどの消耗品は大学が負担する。

まち協からは宿泊時の風呂代と交通費を負担する。作業前の2月末か3月初めに具体的な説明を行う。

イ)バンブーハウス1号基を解体するとの役員会での話であったが、基礎部分はしっかりしているので先端の屋根の部分は解体してネットで補修する。

ウ)バンブーハウス2号基の床を補修する。

エ)ブリッジは補強して安全性を確保する。

オ)竹のトンネルは解体して撤去する。

カ)スクリーンの床を補修する。

キ)道路からの案内と竹林内の案内看板を作成し設置する。

会長より指摘)

1月の役員会で竹林の全ての施設に関し今後の維持管理について討議し、安全を最優先とすること確認した。バンブーハウス1号基解体を決めている。県立大の先生にも話をしている。

学生のみとの話し合いでの決定は了解できない。再度先生と確認をしてください。

②3月15日(木)~16日(金)甲西北中学生が滋賀県立大学生の指導のもと竹林整備を行う。

③3月17日(土)午前は大人だけで椎茸の菌打ち、すすく食堂参加者で、午後からは子供が菌打ちする。

作業は大人がドリルで穴をあけ、子供がハンマーで菌打ちする。

④3月23日(金)~25日(日)チップ機を借用して整備する。

チップ機の借用費用を提示するので承認をお願いする。106,045円(税込み)

結論:申請を全員で承認

⑤4月21日(土)に東近江青年会議所からタケノコ堀の依頼があり了承した。

4) 子ども育成委員会報告 東良委員長(配布の委員会議事録を参照)

①H30,1/28日(日)第6回すくすく広場について報告及び反省点。

ア)参加人数、未就学児 66名・保護者 40名・スタッフ 26名、合計 132名

イ)イベント、ぬり絵、バルーンショー、ミュージック・ケア共に親子で大いに盛り上がり楽しめた。

ケーキ・サービスは、さすが手作りで温さも雰囲気も良かった(180ヶ作成)。

豆まき鬼退治は、ホールを狭く利用していたので、鬼の動きが悪かった。会場のレイアウトを再考する事。おみやげ、お菓子付き鬼の面 60ヶ用意したが足りずに、ケーキでアレンジした。

ウ)精算、予算 120,000円に対し 119,480円。

エ)懸案事項、ケーキ作りオープンの件。今回も人気が高かったので、引き続き来年もイベントに入れる予定です。購入とレンタル両方を見積りを取っていますので、結果三役さんに相談致します。

②安全安心できるまちづくりの推進、予算残の有効活用。

ア)車載用防犯マグエッグ(こども見守り隊3枚購入、7,020円)。

イ)精算、予算 30,000円に対し 29,513円。

③次年度の事業計画について。3本柱で推進する。

ア)安全安心できるまちづくりの推進。夏休み夜間巡回、愛のひと声あいさつ運動。

イ)子どもたちと地域の大人との親睦を図る。

ハリキリンピック、すくすく広場、土曜日事業(ペットボトルロケット大会)

ウ)市民会議との連携。

④委員会人事。30年度、委員長 東良喜代一、副委員長 鶴飼八千子

5) 土曜日事業支援プロジェクト報告

①第10回 2/17 北小13名、菩小10名、保護者を含め42名で竹箒作成。

次年度の土曜日事業支援プロジェクト推進の考え方について会長よりコメント:

両校の校長&コーディネーターとの打ち合わせで基本的な推進の考え方を確認した。

主体者は教育委員会であり、まち協は支援する。次年度は学校側7回まち協で3回実施を確認している。

Q)それぞれの委員会が企画して学校側との打ち合わせなど窓口が分散して混乱しないか?

A)3月8日に学校側と打ち合わせが予定されているとの意見が出されたが、まち協としては正確に把握されていない。その日に合わせた準備が必要であり、各委員会はそれぞれテーマを企画し、まち協全体としての活動テーマ設定の摺り合わせを行う。摺り合わせを2/28(水)19:30~まち協事務所で行う。

6) 会計;中村会計より報告

平成30年2月13日現在の「平成29年度菩提寺まちづくり協議会予算・実績対比表」を配布して説明

①収入実績;5,002,009-

②支出実績;2,690,318- 進捗率;61.9%(支出予算;4,349,575-)

ア)収入予算;4,349,575- 収入実績;5,002,009-

増加要因は事業交付金が予算額を356,840-&事業助成金が200,000-増加

イ)委員会及び地域活性化推進事業の収支実績

・福祉・安全委員会報告 予算;730,000- 実績;25,373- 進捗率;35.0%

・文化芸術委員会 予算;410,000- 実績;290,144- 進捗率;70.8%

・地域活性化委員会 予算;546,000- 実績;189,948- 進捗率;34.8%

・子ども育成委員会 予算;310,000- 実績;293,581- 進捗率;94.7%

・地域活性化推進事業 予算;906,840- 実績;311,840- 進捗率;34.4%

コメント)予算の執行率が低い。

Q)予算科目を変更しての執行は可能か?

A)科目変更の執行も可能である。

「会計監査報告」が鵜飼監事より報告

平成29年度第3四半期(10～12月)の菩提寺まちづくり協議会の会計報告に関し、出納簿ならびに証拠書類などを対照調査した結果、その執行に対して適正に事務処理されているので、正当であることを認める。

7) 事務局:HPへの掲載が滞っている委員会があり掲載努力をお願いします。

4. 閉会の辞 中野副会長

活発な討論・報告有難うございました。

年度末まで1ヶ月半になりました。

事業推進、宜しく申し上げます。

今夜はこれにて終了します。

次回合同役員会 平成30年3月14日(水)19:30～

以上

承認署名 木下良三